

# 開業実話

三軒茶屋ウイメンズクリニック 院長 **保坂 猛** さん(40歳)



撮影=佐久間哲男

### Profile

ほさか・たけし ●1994年、聖マリアンナ医科大学医学部卒業。産婦人科診療所や病院勤務などを経て、95年、同大学病院に勤務、産婦人科医長に就任。その後、診療所勤務を経て、今年2月に開業。日本産科婦人科学会認定専門医、日本生殖医学会認定生殖医療専門医、母体保護法指定医

## 不妊治療を中心に多くの女性を救いたい

### 必要な設備を置ける80坪以上の物件にこだわる

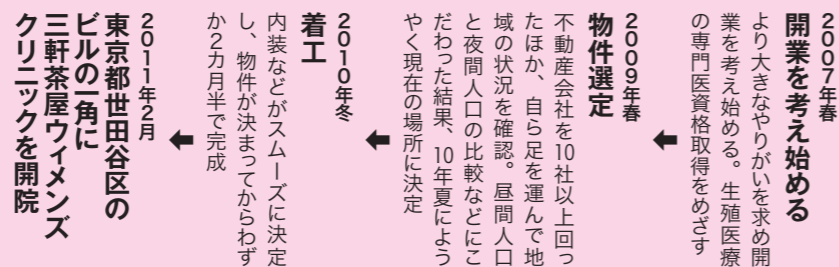
「まずは開業したきつかけを教えてください。」  
保坂 いろいろな理由がありますが、1つ挙げるとすれば、「より大きなやりがい」を求めたいから」ということになりました。今まで複数の病院に勤務

するなかで、ある程度の地位に就かせてもらったのですが、いずれもサポート役で自分以外でも務まる立場でした。不満はなかったものの、もっと大きな責任を果たしたいと思い、今年2月に開業しました。

診療も行っていますが、メーソンは自由診療による不妊治療です。医師になった当時は今ほど不妊治療が進んでおらず、まだ発展する余地がある分野だったことや、生命のスタートである妊娠から死につながる可能性もある子宮がんの発見などまで幅広くかわれることに興味をもちました。実

「開業前のイメージと違ったことは？」  
保坂 不妊治療を希望する患者さんは遠方の人が多いと思っていました。近隣地域の人も少なくありません。開

### 開業ロードマップ



業前はあまり意識していなかった地元での認知度向上も重要と気づかされました。また、婦人科では高齢の方が来院すると思っていました。生理不順やピルの処方希望などで若年層の患者数も増えています。

### ハード・ソフトの両面からサービスの質向上をめざす

「経営者となって特に感じていることはありますか？」  
保坂 損益分岐点にはまだ届いていませんし、正直、「あと何カ月続けられるのか」と、不安に思う時もあり、経営者の大変さを身に染みて感じているところ。それでも、当たり前ですが、リーダーとしてスタッフを不安にさせないように、前向きな姿勢を心がけています。



麻酔を使用するためリカバリ室を用意



「患者さんから『対応がいい』とほめられることが多い」という、保坂院長自慢のスタッフ

「今後の目標を教えてください。」  
保坂 まずは経営を軌道に乗せることです。体外受精のニーズが今後爆発的に増えて

いくとは思っていないので、最低限クリアしなければならぬ数字を達成できるようにしたい。そのためにもサービスの質の向上が不可欠です。女性が話しやすいように施設環境を整えたり、接遇を向上するなど、ハード・ソフトの両面で充実を図っていきたくて考えています。

「最後に、開業を考えている方にアドバイスを一言お願いします。」  
保坂 業者を適切に活用することです。医師は事業を起こすプロではないので、家賃交渉一つとってもうまくできません。その際に業者が心強い味方になってくれます。頼りすぎたり、過剰に疑うのではなく、良きパートナーという関係性を築くことが大切です。

### 保坂院長に聞きました 開業Q&A

**Q1 立地選定の理由は？**  
人通りが多く、自院のターゲット層とが合致していたことです。開業前に、自治体の人口動態などを参考に自分で調べました。

**Q2 開業資金の調達先は？**  
自己資金が3,000万円で、地方銀行から8,000万円を借り入れました。

**Q3 面倒だった手続きは？**  
特にありません。自分で行わなければならないもの以外は業者に代行してもらいました。

**Q4 最も高額な設備は？**  
内装のほか、不妊治療に関する内診台・超音波・免疫検査・体外受精の機器など合計で約1億円でした。

**Q5 開業初日の患者数は？**  
新聞の折り込みチラシで内覧会実施の告知を行い、50組ほど来てくださったのですが、開院初日は2~3人です。



三軒茶屋ウイメンズクリニック  
東京都世田谷区太子堂1-12-34 2F  
TEL: 03-5779-7155  
URL: http://www.sangerjaya-wcl.com/  
診療内容: 婦人科、不妊治療



待合は、白とダークブラウンを基調に落ち着いた空間に